

LS13 本学

受験番号

2012 年度 甲南大学法科大学院入学試験問題

専門論文試験 商法

(60分)

受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は1ページのみである。印刷不鮮明、汚損等があれば申し出ること。
3. 解答用紙は1枚である。解答用紙には裏面もあるので注意すること。
4. 答えは、横書きとする。
5. 答えは、実線内の番号に従って書き進めること。
6. 答えは、黒ボールペンまたは黒インクの万年筆で記入すること。これら以外で記入された答えは、無効となる。
7. 答えを訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直すこと。
8. 下書きには、問題冊子の余白を適宜利用すること。
9. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

専門論文試験 商法

精密機械の部品メーカーであるP社(詳細は後掲)では、経営方針を巡って、近年A派とB派の対立が先鋭化してきた。平成23年4月22日、A1は、自派に有利なように、密かに募集株式を発行し、A2およびA3にそれぞれ200株を割当て、各自200万円(1株あたり1万円)を払い込ませた(本件募集株式発行)。平成23年12月1日の株主総会において、はじめて新株発行の事実を知ったB1の採りうる法的手段について、答えよ。なお、本件募集株式発行以前のP社の状況は以下のとおりである。

P社

- ・すべての株式に譲渡制限が付された株式会社。
- ・代表取締役A1、取締役会(A1を除く取締役; A2, A3, B1, B2)、監査役C
- ・発行可能株式総数2000株
- ・発行済株式総数1000株(株主構成; A1・300株, A2~A4各自100株, B1・200株, B2, B3各自100株),
- ・1株あたりの価額: 1万円